

第9回ポスターコンクール

～障がいがあってもその人らしく、ともにいきいきと暮らせるまち～

市内の小・中学校の児童生徒から、「障がいがあってもその人らしく、ともにいきいきと暮らせるまち」をテーマとしたポスターを募集し、ポスターコンクールを開催しました。また、障害者週間の令和7年12月3日（水）～9日（火）に、イオンモール富津の富津市立図書館にて応募作品を展示しました。

<協議会長賞>



富津小6年 平野 愛莉 さん

<市長賞>



大佐和中2年 浦島 明日香 さん

<のりちゃん賞>



大佐和中3年 亀卦川 美穂 さん

<佳作>



天羽小6年 森 心菜 さん

<佳作>



富津中3年 石井 健太 さん

<佳作>



大佐和中3年 山口 侑汰 さん

<佳作>



富津中2年 小幡 ころろ さん



たくさんの応募をありがとう！
次回のポスターコンクールも、多くの応募を待ってるね！

もごっち

ふっつししょうがいしゃ
富津市障害者
どうごうしえん
総合支援
きょうぎかい
協議会だより

第21号
令和8年3月12日
<事務局>
富津市障害者総合支援協議会
広報会議

令和7年度各部会の活動報告

就労支援部会

1月に「農福連携」に関して、「お試しノウフク」を行った市内事業所による実践報告と意見交換会を行いました。農業と福祉は全く別の業界で、農福連携を行うには様々な壁があるのでは？と懸念がありましたが、実際の作業の様子や農家とのやりとりの話を伺い、「これならばできるかも」と思う事業所も増えてきました。今後も農福連携に関しての情報共有、情報発信を行っていききたいと思います。

< 就労支援部会 部会長 近藤 美知代 >

地域生活支援部会

福祉避難所の見学を通して、福祉避難所の現状を確認することができました。また、公助には限界があり、当事者や事業所等の自助の意識を高めるための周知、啓発の必要性を再認識できました。今後は各障がいに応じて平時の際に備えておくべき物の把握や備えておくべき物の発信等を行っていききたいと思います。

< 地域生活支援部会 部会長 幾野 圭裕 >

子ども部会

子ども部会では、12月にスキルアップ講座として、「高等学校における通級指導について」を開催し、アンケートでは親子で考えることの大切さを聞いたことが良かった、現場の生の声を伺うことができとても良かった等の声があり、有意義な講座となりました。子育て交流会は毎週第2火曜日に開催し、参加人数は横ばいであるものの、ピアサポート的に発達に課題を抱える保護者の相談や助言をする場となっており、今後も継続したいと思っています。

< 子ども部会 部会長 小原 生代 >

権利擁護部会

権利擁護部会は、2月に「意思決定支援」をテーマに淑徳大学副学長 鈴木敏彦 様を講師に迎え「第1回あったかふっつエンジョイトーク 2025」を開催。また、3月に「成年後見制度」をテーマに千葉県社会福祉士会 古澤肇 様を講師に迎え「第2回あったかふっつエンジョイトーク 2025」を開催しました。来年度は意思決定支援についての考えを地域移行や地域生活支援拠点に反映させた事業所向けの研修を企画していきます。

< 権利擁護部会 部会長 平野 翔也 >

デフサッカー体験会 in 佐貫小学校



瀧澤 諒斗 選手 (写真中央左)
尾形 諒 選手 (写真中央右)

耳が聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピックである「東京 2025 デフリンピック」が昨年 11 月に日本で開催されました。富津市障害者総合支援協議会では、デフリンピック開催に先立ち、競技種目であるデフサッカーの体験を通じ、障がいやパラスポーツへの理解を深めることを目的に、市民向けのデフサッカー体験会を 11 月 2 日に佐貫小学校で開催しました。

当日は、東京 2025 デフリンピック日本代表の瀧澤 諒斗 選手、2023 年デフサッカーワールドカップの日本代表として活躍した尾形 諒 選手の 2 名をスペシャルゲストとして招き、サポートメンバーとして、千葉県内を拠点に活動しているデフサッカーチーム「千葉デフフットボールクラブ」の選手やスタッフの方にご協力いただき、イベントを開催し、市内少年サッカークラブの児童を中心に約 80 名が参加しました。



イベント参加者は、デフサッカーと健常者のサッカーとの違いについてや、かんたんにできる手話を学んだり、耳栓をして耳が聞こえにくい状態を実際に体験しながら、デフサッカーの体験を行いました。

始めのうちは、音が聞こえにくいことで、パスのタイミングが取りにくかったり、視覚のみで状況を判断する必要があったりと、普段との違いに戸惑っている参加者が多かったのですが、練習を進めていくにつれて慣れていき、デフサッカーを楽しんでいました。最後に行ったミニゲームでは、瀧澤選手と尾形選手にも参加してもらい、日本代表選手のプレーを肌で感じる機会にもなりました。



参加した児童からは、「難しかったけど、楽しかった。」「耳が聞こえない人でもサッカーができることが分かった。」などの感想や保護者・指導者の方からは「とても明るい雰囲気、障がいとともに生きていけるのだと感じました。」「子どもたちがデフサッカーに興味を持つきっかけになったと思います。」といった感想がありました。



＜障がい福祉事業所・障がい者団体による物産展＞

佐貫小学校でのデフサッカー体験会に併せ、障がい福祉事業所や障がい者団体による物産展も開催しました。市内外 9 事業所・団体が出展し、パンや焼き菓子、小物類、野菜など様々な商品の販売を行いました。当日は多くの方で賑わい、商品が完売している事業所もありました。

物産展を見た方からは「商品の数がたくさんあって良かった。」「食べ物が美味しかった。」などの感想がありました。



＜ 富津市内の相談機関 ＞

富津市内に所在する相談機関を紹介します。以下の機関では障がい児・障がい者福祉に関する様々な相談を受け付けています。お気軽にご連絡ください。

＜障がい者（児）の社会生活全般に関する相談、福祉制度の利用に関する相談＞

○富津市基幹相談支援センター えこ ☎TEL：0439-66-2750 FAX：0439-29-7269

＜障がい福祉サービス利用に関する相談＞

○ほうきぼし ☎TEL：0439-66-1750 FAX：0439-29-7269

○望みの門ベテル ☎TEL：0439-27-0551 FAX：0439-27-0545

○あすなろ相談支援センター ☎TEL：0439-29-6600 FAX：0439-67-1400

○かけ橋相談支援室 ☎TEL：0439-29-6610 FAX：0439-29-6612

＜障がいの有無に係わらず社会生活全般に関する相談＞

○君津ふくしネット ☎TEL：0439-27-1482 FAX：0439-88-1481

＜障がい福祉制度、障がい者（児）の社会生活全般に関する相談＞

○富津市 障がい福祉課 ☎TEL：0439-80-1260 FAX：0439-80-1355

(富津市役所 2 階 25 番窓口)



富津市障害者総合支援協議会のマスコットキャラクター のりちゃんです！ よろしくね！